

## 魅力ある袋井あやぐも学園幼小中一貫教育研修会

くなら、家庭の温をつくる いくかが課題です。せっか くり、学校生活とつなげて 家庭の温をどのようにつ 万法を幼小中でそろえら れるとよいと思います。



います。 ました。生き方のカリキュラ ム 大のために尽くす力を育 誰かになる」と書いてあり てる」につながっていると思 掲示に 誰かがやる

特別支援

えていきたいです。それが るための支援や手立てを考 公正という考え方だと思い みんなが同じ土俵に上が



授業づくりのカリキュラムに示されている交流活ムに示されている交流活動を高めるため 動集団活動を高めるため にICTの活用ができていました。生徒たちは、自分の気が付かなかったことを発見したり、自分の意見に自信が持てたりしていました。



当日は、学園運営協議会も行われ、授業参観と久我先生の講演を聞いた後、袋井あやぐも学園の運営方針や経営方針を協議しました。

主体的に考えたり、思考を働かせる	思考を働かせる時間の設定		文える遊びの東実 か、WinyHow型の問題設定・単元や前時とのつながりを意識した導入場面 中 WinyHow型の問題設定・単元を責く課題の設定・生徒の雇り返りを問題設定 の気づき 設定 中 大学器技能に対する乗り返り、まさめの時間の設定 中 大学器物の代力の辛輩・・ 大学器がかび乗落を入れたに振り返り、まさめの時間の設定 中 大学器物の代力の辛輩・・ 大学器やかび表示を入れた環境選手を入れた関する事がある 次の手びにつなけるために、提別適合や コンドリンドにとを配入			
学びづくり 授業の中で「話す」「聞く」を大切にするとともに、	授業間	楽しく話す / 聞く楽しさや大切さを感じ聞こうとする <sub>/</sub>	相手を見て聞こえる声で話す / 相手を意識して聞く /	相手にわかりやすく話す 相手の話を反応しながら聞く	相手の意見とつなげながら話す / 相手と自分の考えを比べながら聞く /	相手を意識して聞きたくなる話し方で話す 相手の考えを引き出す聞き方で聞く
家庭学習を工夫することにより、 主体的に学習する態度を養う。	家庭学習	楽しさ・家庭で一緒に	主体的に学習 / 取組み方(型・ルール)	する 態 度 が 身 / 自学	に 付 い て い る / 授業とつなげて	/ 外発的動機付け・内発的動機付け
体づくり 「体を動かすことを楽しむ子」を育てることを通して、良好な人間関係を築 くカや目標に向けて努力し続ける力を育てる。		「あそび」を通して 体を動かすことを楽しむ	/ 「できた」を増やしながら 体を動かすことを楽しむ	協力して 体を動かすことを楽しむ	/ 目標連成に向けて、考えながら 体を動かすことを棄しむ	自己の目標に合わせ、努力を積み重ね るために体を動かすことを楽しむ
心づくり	静	わがままをせず、 周りの友達と生活できる(個) /	わがままをせず、 周りの友達と生活できる(公)	よく考えて行動し、 ルールに従って生活できる	よく考えて行動し、 ルールに従い責任を持って生活できる	TPO (時・所・場合) を考え、 相手の立場を尊重してマナーを守る
「静をつ <mark>くる」「温をつくる」という活</mark> 動を通して、規範意識や思いやりの心を育てる。	温	自分や問りのものを 大切にできる	周りの人に 親切にすることができる	闘りの人に進んで 親切にすることができる	/ 相手の立場や気持ちを考え 親切にすることができる	関りの人に感謝の気持ちをもち、 他の人に対し、裁切にすることができる
	家庭の温を大切に	基本的自尊感情「たった一人の存在」 親が幸せで実額でいる家庭	〈受容・共感〉	会話を増やし、絆を深める		人や社会に役立つよさがある」(承認・賞賛) 目指し、自分の将来について猛ができる家庭
生き方 「働く喜び」や「住みよいまち」の視点で人のために尽くす力を育てる。	働く喜び	自分のことを 自分でやる	自分から 進んで働く	仲間と協力して   個く	学級や学校など 周りのことを考えて働く	地域のために汗を流し 社会のために働く
	住みよいまち	身近な地域にふれる 好きになる	身近な地域にふれ、 地域を知る	地域の良さを 見つける		
誰もが十分に力を発揮できる教育環境を目指		別支援 育支援計画」「個別の	指導計画」を活用す	ることで、児童生徒の	自立力・社会力を育て	7.5.